

本市の概況

人口動向・市民活動

人口

(平成23年3月1日現在)
79,919人(男38,949人、女40,970人)
世帯数:34,011世帯

市章

「長」の文字を図案化し、重なった円が住民の和と発展する年輪を表しています。



市民活動の拠点

市民活動サポートセンター(総合交流センター内)
市民活動オフィスフロア(多世代交流ふれあいセンター内)など

生活環境・産業

主な観光名所

長岡天満宮、光明寺、楊谷寺
勝龍寺、勝竜寺城公園
乙訓寺、中山修一記念館
長法寺、神足ふれあい町家



勝竜寺城公園

イベント

春の観光まつり(4月)
あじさいまつり(6月)
長岡京ガラシャ祭(11月)
秋のもみじまつり(11月)など



秋のもみじまつり(楊谷寺)

主な事業所

(株)工進、サントリー酒類(株)京都ビール工場
(株)松栄堂長岡京工場、(株)ツバキエマソン
日本輸送機(株)、パナソニック(株)セミコンダクター社
三菱製紙(株)京都工場、三菱電機(株)京都製作所
(株)村田製作所、レンゴー(株)新京都事業所
(株)ロジスティクス・ネットワーク関西センター など

特産品

タケノコ加工品(缶詰・佃煮・和菓子・洋菓子)、竹製品、
タケノコ料理、タケノコ・ナス・花菜などの農林産物

景観重要樹木



キリシマツツジ

平成20年度に景観計画を策定。平成22年度に景観法の指定により、燃えるような濃紅色の八条ヶ池中堤のキリシマツツジを景観重要樹木に定めました。

地理特性・都市基盤・圏域の動向

歴史

西暦518年 継体天皇、弟国宮をつくる(～526年)
西暦784年 桓武天皇、長岡京に遷都(～794年)
昭和 24年 3村の合併で長岡町が誕生
昭和 47年 市制施行

地勢



京都盆地の西南部に位置し、北は向日市・京都市、東は京都市、南は大山崎町、西は西山連峰を境に大阪府と接しています。

総面積の約65パーセントが居住可能な平たん部であり、残りの西山山地は、市街地の背景として本市の景観の主体となっています。西山山地は、近畿圏近郊緑地保全区域に指定され、景観の保全が図られています。中央部は住宅・商業・工業・農業に広く利用されています。東部は工場適地に指定されており、工業が盛んです。河川は、小畑川が東部を南北に、小泉川が西南部をほぼ東西に貫流して桂川に注いでいます。

交通は、東部をJR東海道本線、中央部を阪急京都線がそれぞれ並行して通過しています。京都へはJR長岡京駅・阪急長岡天神駅から10～15分、大阪へは26～40分で行くことができます。さらに、東海道本線の東側には東海道新幹線・名神高速道路・国道171号が縦走しており、交通の便に恵まれています。

広域連携

乙訓2市1町における一部事務組合(乙訓環境衛生組合、乙訓福祉施設事務組合、乙訓消防組合)をはじめ、山城地域における様々な広域的な取り組みを進めています。

概要版

平成23年度～平成27年度

長岡京市第3次総合計画 第3期基本計画

住みつづけたい みどりと歴史のまち



第3期基本計画の方向性

第3期基本計画では、以下の各分野において市政を推進します。

分野

- ◆第1分野「福祉・保健・医療」 ◆第4分野「都市基盤」
- ◆第2分野「生活環境」 ◆第5分野「産業」
- ◆第3分野「教育・人権・文化」 ◆第6分野「まちづくりの推進に向けて」

重点テーマ

特に重視すべき分野横断的なテーマとして、6つのテーマを設けています。

- ①新しい都市基盤の構築とその活用による「交流・活力・にぎわい」の創出
- ②市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり
- ③だれもが安心していきいきと暮らせる「健康・福祉」の推進
- ④「安心・安全」のまちづくりの推進
- ⑤住民が地域の課題を解決する「地域力」の向上
- ⑥文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上

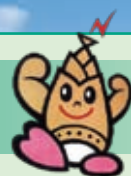
重点方針

効率的かつ効果的に市政を推進するための方針として、6つの方針を設けています。

- ①効率的な行財政運営の推進
- ②パートナーシップの推進
- ③積極的でわかりやすい情報発信による情報共有
- ④行政サービス向上のための民間経営手法の活用
- ⑤公共施設や設備の適切な維持・更新
- ⑥部局横断的な取り組みの推進

各分野の主な取り組み

◆第1分野「福祉・保健・医療」



長岡京市健康文化都市宣言
シンボルマーク「のこちゃん」

第2期基本計画までの成果

- 「総合生活支援センター」の開設で総合的な福祉相談などを実施。(平成17年度～)
- オープンラウンジ「カフェエポカ」などで障がい者の就労を促進。(平成17年度～)
- 「地域包括支援センター」で高齢者の生活を総合的に支援。(平成18年度～)
- 「つどいの広場」(平成18年度～)や「地域子育て支援センター」(現在の形は平成20年度～)により、育児相談の機会を拡大。



総合生活支援センター

第3期基本計画の主要な事業

- 「福祉なんでも相談室」を開設し、福祉に関する複合的な問題などに積極的に対応します。
- 保育所耐震化により安全性を確保します。
- 民間保育園の施設整備などにより、待機児童の解消を目指します。
- 「地域包括ケアシステム」の中で、「認知症サポーター」養成に取り組みます。
- 食に関する知識を育て、健康を増進するために「食育」を推進します。



食育の取り組み(農産物の栽培)

◆第2分野「生活環境」



上下水道部マスコットキャラクター
「水都(MITO)ちゃん」

第2期基本計画までの成果

- 「環境基本計画」に基づく環境保全活動を実施し(平成13年度～)、この活動の積み重ねに基づく「環境都市宣言」を制定。(平成21年4月)
- 「みどりのサポーター」制度(平成16年度～)や「まちをきれいにする条例」(平成18年度施行)により緑化・美化活動を促進。
- 「西山森林整備推進協議会」などによる森林保全を推進。(平成17年度～)
- 地下水100%供給施設「ガラシャおもかげの水」を設置。(平成18年度)
- 下水道(汚水)事業の人口普及率98.9%。(平成22年度)



ガラシャおもかげの水

第3期基本計画の主要な事業

- 「環境フェア」などにより、市民の環境活動を促進します。
- 西山を「市民の宝」と位置付け、さらに整備を進めます。
- 公園整備や市街地の緑化を進め、うるおいある空間を増やします。
- 雨水の貯留浸透など新たな浸水対策を含む「水循環再生プラン」を策定します。
- 「水道ビジョン」に基づく水道施設の再構築・更新で、安全で良質な水を安定的に供給します。



西山森林整備推進協議会の活動

◆第3分野「教育・人権・文化」



人権マスコット
「たけとん」

第2期基本計画までの成果

- 学校を拠点とする「総合型地域スポーツクラブ」の設置を促進。(平成13年度～)
- 生涯学習の拠点として「中央生涯学習センター」を開設。(平成17年度～)
- 国登録有形文化財「石田家住宅」を改修し、「神足ふれあい町家」として開設。(平成19年度～)
- 全小中学校の普通教室の空調設置を完了。(平成20年度)
- 「男女共同参画推進条例」を制定。(平成22年度施行)



総合型地域スポーツクラブ

第3期基本計画の主要な事業

- 小中学校施設の耐震化を着実に推進します。
- 男女共同参画の団体の活動・交流の場「男女共同参画フロア」の利用を促進します。
- 国史跡「恵解山古墳」を、歴史に思いをはせ、憩いの場となる史跡公園として整備します。
- 国内最大の文化の祭典である「国民文化祭」を開催し、これを契機とした文化芸術の振興を目指します。



空から見た恵解山古墳

◆第4分野「都市基盤」



長岡京はっぴいバスイメージ
キャラクター「はっぴいちゃん」

第2期基本計画までの成果

- JR長岡京駅西口再開発事業を完了。(平成17年度)
- 交通不便地域の解消のため「はっぴいバス」の運行を開始。(平成18年度～)
- 災害時の避難が困難な人の把握のため、「災害時要配慮者リスト」を作成。(平成20年度)
- 長岡京らしい景観を守り育てるため、「景観条例」を制定。(平成21年度施行)
- 中心市街地での「交通社会実験」を実施。(平成22年度)



はっぴいバス

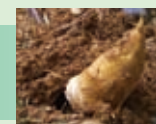
第3期基本計画の主要な事業

- 市民協働により、阪急長岡天神駅周辺の整備方針を策定します。
- 市南部の玄関口として、にそと・阪急新駅周辺の整備を完了します。
- 道路の舗装復旧をさらに進めます。
- 市内の公共交通のあり方を検討し、「地域公共交通ビジョン」を策定します。
- 「マンホールトイレ」の整備や長期保存食の増強など、災害時の備蓄物資の整備を進めます。



阪急新駅と第二外環状道路のイメージ

◆第5分野「産業」



名産の
京タケノコ

第2期基本計画までの成果

- ふれあい朝市開催や有害鳥獣対策、特産物育成など、市内の農業を支援。
- 中小企業の経営基盤安定や商店街の活性化につながる支援を実施。
- 「企業立地促進条例」により、企業立地を促進。(平成15年度～)
- 「観光戦略プラン」に基づき、「住みよいまちは、訪れてよいまち」を基本理念に観光施策を推進。(平成17年度～)



LED商店街灯(商店街環境整備事業)

第3期基本計画の主要な事業

- 地元産農林産物が家庭や給食に届くよう、「地産地消」をさらに推進します。
- 放置竹林などの整備や竹チップ・竹炭などの竹の利活用の検討を進めます。
- 中小企業の経営基盤安定のため、経済情勢に即応できるような融資制度を展開します。
- 「乙訓・八幡歴史ウォーク」や食をテーマにした観光イベントの充実を図ります。



竹炭となった竹チップ

◆第6分野「まちづくりの推進に向けて」



長岡京ガラシャ祭イメージ
キャラクター「お玉ちゃん」

第2期基本計画までの成果

- 市長と市民が直接対話する「まちかどトーク」を実施。(平成15年度～)
- 行財政改革により累計約84億円の財政効果。(平成16～21年度)
- 市民活動の拠点となる場所として、「市民活動サポートセンター」を開設。(平成17年度～)
- 意見公募手続(パブリックコメント)を開始。(平成20年度～)
- 「多世代交流ふれあいセンター」を開設。(平成22年度～)



まちかどトーク

第3期基本計画の主要な事業

- 小学校区単位の「地域コミュニティ協議会」設立支援で地域コミュニティを活性化します。
- 公共施設の老朽化などに対応し、効率的な施設の整備のための指針を検討します。
- 「第3次行財政改革大綱」により、さらなる行財政改革を推進します。
- 京都府立大学との「連携協力包括協定」により、様々な行政課題の解決や人材育成に取り組みます。



地域コミュニティ協議会準備委員会